

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【サーチャージ制】

燃料（軽油・重油）価格や為替レートの変動に応じて運送や製品価格に追加料金を加算・調整する仕組みを指す。急激なコスト高騰による運送業者の損失を回避し、荷主や乗客が変動分として負担することで安定したサービス提供を目的としている。航空（燃料サーチャージ）、物流（燃料サーチャージ）などで導入されている。

井戸端会議でも使えるネタ話

今月のネタ話：【手を動かすことの静かな反乱】

AIが文章を書き、動画を編集し、レシピまで提案してくれる時代ですが、若い世代が夢中になっているのは「自分の手でつくること」だそうです。料理、ガーデニング、クラフトなど、古くて地味なはずの趣味がZ世代の間で静かに再燃しています。背景にあるのは「アテンション・デトックス」とも呼ばれるSNS疲れ。常に誰かに見られ、反応を求められる生活の中で、画面を閉じて土を触ったり針を動かしたりする行為は、承認を必要としない純粋な時間として機能しているようです。完成度より「過程」を楽しむ姿勢も、結果を急ぐデジタル文化へのひそやかな抵抗なのかもしれません。さらに面白いのは、このブームがデジタルと対立しているわけではない点です。手作りの過程をSNSに投稿することで共感が生まれ、コミュニティができて「つくる」ことが「つながる」手段にもなっているのでしょう。これは単なるアナログ回帰は懐古ではなく、デジタル過多への処方箋なのかもしれません。



意外に知らない 暦の話

8月8日は「プチプチの日」。「プチプチ」とはポリエチレン等のシートに粒状の気泡を複数並べた緩衝材のことで、粒の並びの一部が8に見える、また「パチパチ」とつぶすことから、輸送配送用梱包材・包装資材の製造販売を手がける川上産業株式会社が制定しました。ところでこのプチプチを日本で初めて製造販売したのが川上産業だったわけですが、実は当初の商品名は「エア・バッグ」。しかし「エア・バッグの会社です」と説明しても伝わらない一方で「あのプチプチの・・・」と言えばすぐに分かってもらえたことから、後に正式名称として採用され、商標登録もされたのだとか。発売から半世紀余り、今年年間で封入する空気量は東京ドーム565個分にも上ります。防災用途でも注目されているほか、アート素材として、また「パチパチ」する動作のストレス解消効果に着目した玩具も人気です。記念日にはあなたなりの方法で「プチプチ」を暮らしにいかしてみてもいいかも！

気軽にLet's 英会話

今月のキーワード：【reach】

7月から携帯電話の番号に「060」が使えるようになります。「携帯電話」は英米でいい方が違い、英では“mobile”、米では“cellphone”です。しかし今は普及しすぎて、単に“phone”という場合も多いようです。「いつでも電話して」は“You can call me anytime.”ですが、“reach”を使いたい方もできます。“Here is my number. You can reach me anytime.”では「これが私の電話番号よ。いつでも連絡して」です。「到着する・届く」と習った“reach”にはこんな使い方もあるんですね。

玉ねぎを切る前に冷凍庫で10分ほど冷やすと、涙の原因になる成分が空気中に広がりにくくなり、目への刺激を抑えられます。凍らせる必要はなく、軽く冷やすだけで十分。水にさらすより風味や旨味が逃げにくく、シャキッとした食感も保ちやすいのが利点です。

